

山口大学大学院創成科学研究科 教員公募

募集人員	教授 1名 (女性限定)
所属	山口大学大学院創成科学研究科 工学系学域 工学基礎分野
着任予定日	2025年4月1日
専門分野	数学(分野は問わない)
担当予定科目	工学部教育課程における数学系授業科目(線形代数学、常微分方程式、フーリエ解析、複素解析、確率・統計など)、共通教育科目(微分積分学)及び大学院創成科学研究科の講義
勤務形態・待遇	(1) 常勤(任期なし) (2) 給与等雇用条件は、本学の規則による。年俸制を適用する。
応募資格	以下の条件(1)~(5)をすべて満たす者 (1) 女性であること ※山口大学では、男女共同参画を推進しており、「男女雇用機会均等法」第8条の規定により、研究者の女性割合を積極的に改善するための措置として、女性に限定した公募を実施します。 (2) 博士の学位を有すること (3) 専門分野において優れた研究業績を有し、工学教育に真摯に取り組んでいただける方 (4) 担当予定科目などの講義ができる方 (5) 学部における卒業研究、博士前期課程及び後期課程における研究指導ができる方
提出書類	(1) 履歴書(写真貼付、現住所、連絡先(電話番号、e-mailアドレス)、生年月日、学歴(高校卒業以降)、職歴、受賞、所属学会を記入) (2) 研究業績リスト(A. 学術雑誌論文(掲載済または掲載決定済のもの)、B. 著書、C. 招待講演及び国際会議等発表、D. 総説・解説等)各項目で年代の古い順に記載 (3) (2)のAのうち主要論文5編以内の概要(各400字以内) (4) (3)の主要論文の写し (5) これまでの研究概要と今後の研究計画(A4判1~2枚) (6) これまでの担当科目と工学部での数学教育に関する抱負(A4判1~2枚) (7) 科学研究費補助金等の外部研究費獲得情報 (8) 応募者について所見を伺える方(1~2名)の氏名、所属・職名、連絡先(勤務先住所、電話番号、e-mailアドレス)

提出期限 2024年6月28日(金) 必着
選考方法 書類審査による選考後、面接を行う。面接の際の旅費等は自己負担とする。

応募書類送付先 〒755-8611 山口県宇部市常盤台2丁目16-1
山口大学大学院創成科学研究科 工学系学域 工学基礎分野
分野長 西山 高弘
封筒に「公募書類在中」と朱書きの上、簡易書留で郵送のこと。

問い合わせ先 山口大学大学院創成科学研究科 工学系学域 工学基礎分野
分野長 西山 高弘
E-mail: t-nishi@yamaguchi-u.ac.jp

その他 (1) 応募書類に含まれる個人情報は、国立大学法人山口大学の定めに従い、本人事選考にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。
(2) 応募書類は原則として返却いたしません。
(3) 本学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行っており、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、メンター制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しております。

山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取り組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めています。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

研究についての支援

研究補助員 制度

ライフイベントを抱える本学の研究者を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

研究活動 復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の研究者を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

女性研究者 メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

留学生 サポーター 制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

子育てや介護についての支援

学童保育 ヤマミィ学級

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミィ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

たんぽぽ保育園 (小串キャンパス)

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名
病後児保育3名

企業主導型 保育所

地域の企業主導型保育施設（6施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

病児保育施設等 利用助成制度

教職員（共済または社会保険加入者かつ配偶者がいる場合には配偶者が就業中の方）のお子様が病児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

学内託児 スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供することができます。

【相談】
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】
離れて暮らす御両親のお世話を専門職が代行し、支援します。

カウンセリング 相談制度

本学の教職員等を対象に、臨床心理士の専任カウンセラー2名体制により、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。



検索